



2013.5.17-18
ロータリー
世界平和フォーラム広島

2013 ロータリー世界平和フォーラム広島 ホスト委員会
委員長 川妻二郎
〒730-0011 広島市中区基町 5-44
広島商工会議所ビル 7F
TEL: (082)-511-3310
FAX: (082)-511-3317
E-mail: rgpf-hiroshima2013@jeans.ocn.ne.jp

2013年4月12日

国際ロータリー第2790地区
ガバナー 得居 仁 様

2013 ロータリー世界平和フォーラム広島
ホスト委員会 委員長 川妻二郎
(2710 地区 2002-03DG)

「緑の遺産」植樹のお願い

謹啓 皆様方にはますますご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私共で準備を致しております「2013 ロータリー世界平和フォーラム-広島」の開催もあと一ヶ月あまりに迫ってまいりました。各地区ガバナーの皆様方のご協力のおかげで既に1800人を超える参加登録をいただき、すべての準備も順調に進み、盛大な開催ができる運びとなりました。あらためて皆様これまでのご協力に対し深甚なる感謝を申し上げます。

さて、本日差し上げる手紙は、この度の、田中作次会長年度に開催する広島でのフォーラムの記憶を将来に残すための重ねてのお願いでございます。ご承知のとおり広島は1945年原子爆弾によって灰燼に帰しましたが、その中で生き残り新しい芽を吹いて今も生き続けている樹木が有り、悲劇の生存者として全人類に対して重要な平和のメッセージを静かに伝えています。

この平和のメッセージを広く伝えるために世界中にこの樹木の苗や種を植える活動を広島にある国連の教育研究機関であるUNITAR(ユニタール)や、広島で国際的な平和活動を行っているNGOのANT-HIROSHIMAが中心になって、グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブを組織しており、広島ロータリアンも積極的にこの運動に参加しております。(別添資料をご参照下さい)

そこで、この平和のメッセージを持つ被爆樹木の苗を、田中作次会長の年度に広島で開催する「2013 ロータリー世界平和フォーラム-広島」を記念し、平和への想いを未来に伝え残すために、皆様方の地区に当ホスト委員会から贈呈いたしたいと考えています。

しかしながら、この樹木は特別の意味を持っていますし、命を持つ生き物であり、しかるべき植樹の場所も必要ですし、絶え間無い管理も必要です。そしてなによりもこの樹木の持つ平和の遺産としての意味を伝え続けていただかなくてはなりません。したがって、皆様方にそのようなご用意ができることを前提に、ご賛同いただいた上で、苗木をお送りしたいと考えています。(苗木は、気候条件に強いイチョウを予定しております)

私共の趣旨をご理解いただきご賛同いただければ、別紙の用紙に必要事項をご記入いただきご返送くださるようお願い申し上げます。すぐに苗木を指定の場所にお送りいたします。(ご賛同いただけない場合はご回答不要です。)なお、苗木の移植の時期の関係がありますので取り急ぎのお願いとなったことをお許し下さい。同じ理由で恐れ入りますが至急ご回答頂くようお願い申し上げます。ご健勝にてのご活躍をお祈りいたします。

敬白

「緑の遺産」植樹についてのご回答

2013 ロータリー世界平和フォーラム-広島
ホスト委員会 委員長 川妻二郎 行

国際ロータリー第 地区
ガバナー

田中作治会長年度の平和のテーマと、世界平和フォーラムの広島開催を記念する緑の遺産としての被爆樹木の苗をいただき育てることに賛同し、下記のように予定いたしますので、記載の場所に苗木をお送り下さい。

植樹する場所 (未定の場合は概ねの場所、学校・公園などで結構です)

植樹する場所の詳しい自然条件 (写真を添えていただければ幸いです)

どなたかに継続的に管理していただき、半年に一度程度樹木の様子を知らせていただけますでしょうか？

苗木をお送りする場所

ご担当の方の連絡先

苗木の管理マニュアルや苗木の様子の報告先は後ほど苗木をお送りするときに同封します。

2013 ロータリー世界平和フォーラム-広島 事務局宛

FAX 082-511-3317

Mail:rgpf-hiroshima2013@jeans.ocn.ne.jp

Green Legacy Hiroshima



長年、広島を街を散策しているうちに、私たちは広島の特別な住人—原爆を生き延びた樹木とその子孫の木—の回復力、寛大さ、美しさ、そして、とりわけ、それらの樹木が持つ大切な意義を知るようになりました。核の悲劇の生存者である被爆樹木は、ここ広島に住む人々や広島を訪れる人々に対してだけではなく全人類に対して重要なメッセージを伝えています。グリーン・レガシー・ヒロシマは、これらの樹木を守り、その存在と意味とを広く知らせるために立ち上げられました。世界中の多くのパートナーがこの取り組みに参加し、それぞれの国で、広島の平和のメッセージを緑の遺産とともに積極的に伝える大使になってくださることを祈念します。



グリーン・レガシー・ヒロシマについて

緑豊かな活気あふれる街となった広島は、平和記念資料館と平和公園で有名なだけでなく、樹木の豊富さでも知られています。爆心地からおよそ2キロ以内の55箇所にある約170本の樹木が、広島市によって正式に被爆樹木として登録されています。被爆者と同じように、被爆樹木もまた核兵器によって引き起こされた耐えがたい惨状の証人です。広島市や樹木医や多くの市民団体や市民によって、何年にもわたり大切にされてきたこれらの樹木には、被爆樹木であることを示すプレートがつけられています。

1945年8月6日に広島に投下された原子爆弾により、広島市の中心部は灰燼に帰し、放射能の砂漠となりました。壊滅的な打撃を受けた広島市には、いかなる生命も生きられないと思われました。75年間は草木も育たないだろうと考えた人も多く、市全体を別の場所で再建しようという意見もありました。そのような状況の中で、原爆投下からほんの数か月後、荒廃した風景の中で被爆した木々に新しい芽吹きが見られました。その芽吹きは広島を復興させるために懸命に努力していた被爆者に力強いメッセージを与え勇気づけたのでした。1950年代に、広島で平和大通りや平和公園に植樹をするために供木運動が呼びかけられたとき、日本国内のみならず世界中から何千もの種や苗が提供されました。世界中からの支援によって、広島市は、河岸をはじめとする、街の緑化計画に取り組むことができ、その活動は今日まで続けられています。広島市は様々な地域と種のやりとりを通して、長年にわたりたくさんの「緑」の友好関係を築いてきました。

被爆樹木は、いまも葉を茂らせ、花を咲かせ、実をつけ、証人として生き続けています。これまでも、被爆樹木の種や苗を世界に広めようとする多くの有意義な活動が実施されてきました。しかし国際的かつ組織的な取り組みは、今回が初めてです。より緑豊かな地球にするために、次世代の人々が核の脅威のない世界に生きられるようにするために、戦争犠牲者を追悼するために、あるいは自分の住む街に平和公園を作るために尽力したいと思うすべての方々と共に活動することを目指し、2011年7月、ナスリーン・アジミと渡部朋子は、国連訓練調査研究所（ユニタール）、ANT-Hiroshima、献身的な市民の方々と共に、「グリーン・レガシー・ヒロシマ」（GLH）の一年のパイロット期間を開始しました。広島市の被爆樹木の種や苗を配布し植えるというその設立趣旨はシンプルで持続可能です。一方、その実施方法は、都市の公園や、植物公園、学校、大使館などの公共施設や民間施設に種を植えることから、核施設が存在した可能性がある南アフリカやカザフスタンのような象徴的な場所に植樹することまで、場所にあった様々な活動が考えられます。中心概念は普遍的で、活動方法は多様なこの取り組みは、象徴的な力がある一方、実施は容易です。

さらに、グリーン・レガシー・ヒロシマの取り組みによって、ユニタール、ANT-Hiroshima、広島大学、広島市や広島県のプログラムで広島を訪れる数多くの専門家や研究者たちと広島との絆を深めていくこともできるでしょう。彼らは、それぞれの豊かな経験とエネルギーを生かし、21世紀の平和と環境のメッセージを伝える広島の大使として活躍してくれるでしょう。

一年間のパイロット期間を経て、2012年7月、「グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ」は日本の法律のもとに任意団体として新たに立ち上がりました。引き続き、共同創設者ならびにコーディネーターを中心に活動していきます。組織的なパートナーであるユニタールとANT-Hiroshima、広島市、広島平和文化センター、広島市植物公園、広島大学、広島県からなるワーキンググループもこのイニシアティブの活動に協力していきます。

グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブへの参加方法については添付資料をご参照ください。

お問い合わせ先：

グリーン・レガシー・ヒロシマ 共同創設者ならびにコーディネーター

ナスリーン・アジミ (greenlegacy@unitar.org) ・ 渡部朋子 (green@ant-hiroshima.org)

ANT-Hiroshima

730-0012 広島市中区上八丁堀8-14 安芸リーガルビル

ユニタール広島事務所

730-0011 広島市中区基町5-44 広島商工会議所ビル

<http://www.unitar.org/greenlegacyhiroshima>

Basic steps for applying for Green Legacy Hiroshima seeds
グリーン・レガシー・ヒロシマの種の申込手順

- 1. Expression of institutional interest to Green Legacy Hiroshima Initiative (formal request by a primary contact and by email is sufficient).
グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブに対し、組織として関心がある旨を知らせる（中心となる担当者からの正式なメールによる申込みでよい）。
- 2. Primary contact(s) consult with scientific entities (most preferably botanical gardens, universities) in their own city/country, based on whose advice and following confirmation by the GLH gardeners, can identify the appropriate and adapted species among the survivor trees.
担当者は自国あるいは都市の科学的組織（植物公園あるいは大学が望ましい）に相談し、専門家のアドバイスを基に基づき、また、GLHの樹木専門家と相談しながら、生育可能な樹木の種類を選ぶ。
- 3. Submission of the GLH Application Form (Available on GLH web-site)
申込用紙の提出（申込用紙はグリーン・レガシー・ヒロシマのホームページに掲載あり）
<http://www.unitar.org/green-legacy-hiroshima-application-form>
- 4. Primary contact(s) start process of clearing customs requirements for seeds (plant quarantine related matters) in recipient countries, or working through their botanical gardens to benefit from 'Botanical Garden Seed Exchange Network' framework.
担当者は自国の税関手続き（植物検疫の規制）に基づいた送付方法を検討する、あるいは、植物公園の協力を求め「植物公園の種の交換ネットワーク」による送付の利用を探る。
- 5. Upon approval of modality of exchange (whether through quarantine or through botanical gardens) GLH will dispatch seeds by mail or in person. Please note that seed dispatch takes place roughly between October to June (North & South Hemisphere) of each year.
送付方法の準備が整い次第（検疫規則をクリアした送付方法あるいは植物公園間の送付ルート）GLHは種の発送、あるいは手渡しをする。ただし、種の送付期間は10月から6月までを原則とする（北半球、南半球とも）。
- 6. GLH partners are encouraged to provide updates on status of plants, twice a year in the first two years, thereafter as needed. A dedicated website (<http://www.unitar.org/greenlegacyhiroshima>) will share the experiences of partners worldwide.
パートナーは、GLHに対し最初の2年間は毎年2回、その後は必要に応じて苗の発育状況の報告をすることが望まれる。提出した情報はグリーン・レガシー・ヒロシマのホームページ上に掲載され、そこで世界中のパートナーとの情報交換がなされる。

October, 2012



Green Legacy Hiroshima

申込書 第一部

申込み年月日 年 月 日

1. 申込者氏名(フリガナ)
2. 住所
3. 国名
4. 連絡先
 - 1) 電話番号：
 - 2) FAX番号：
 - 3) メールアドレス：
 - 4) URL：
5. 所属団体名
6. これまでに、ユニタールまたはANT-Hiroshimaの研修会に参加したことがありますか。
はい(内容)：

いいえ
7. これまでに、広島を訪れたことがありますか
はい(年月日)：

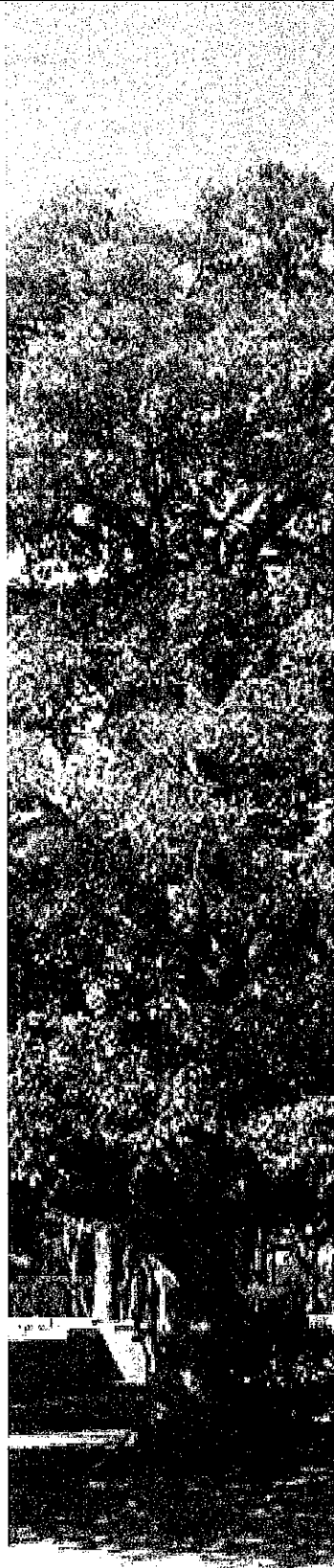
いいえ
8. 応募の動機
9. 植樹を希望する場所 (未定の場合はそのようにお書きください。)



unitar
United Nations Institute for Training and Research



Green Legacy Hiroshima



申込書 第二部

10. 植樹希望地及び周辺環境。植樹後の世話についての具体的な計画。

11. 植樹希望地の写真、その他必要と思われる情報や文書を貼付またはメールに添付してください。

12. 木々の成長や様子について、定期的（例：半年ごと）情報を寄せていただけますか。

お問い合わせ： グリーン・レガシー・ヒロシマ チーム
ナスリーン・アジミ (greenlegacy@unitar.org)・渡部朋子 (green@ant-hiroshima.org),
コーディネーター

<http://www.unitar.org/greenlegacyhiroshima>



unitar
United Nations Institute for Training and Research

